



きよかわむら

社協だより

2018

8

No.204



視覚障害について、

学ぶ

7月12日、緑小学校5年生の総合学習の一環として、社協職員が講師となり『視覚障害』について、体験を交えながら児童に話をさせていただきました。

授業では、視覚に頼らず周りの情報を聴覚や触覚で得ることや、実際にクラスメイトを誘導する体験をしました。児童は、「ちゃんと声かけをされて誘導してもらっていても、どこか不安に思うところがあった」「廊下など平らな空間のほうがどこに何があるのかわからず怖かった」と話していました。

この体験を通じて、障害者だけでなく、誰もが生活しやすい社会にするために、自分たちにとどのような配慮ができるのか考えるいい機会になってくれればと思います。

8月号 おもな内容

- 特集 清川ホームをご存知ですか? 2P
- ほのぼのクラブ3地区合同で開催 3P
- 曲師宿・古在家自治会有志が体験 3P
- 社協からのお知らせ 4P
- ふれあい昼食会 3P

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。



障害者支援施設 社会福祉法人緑友会 清川ホームをご存知ですか？



皆さんは、知的障害者入所施設『清川ホーム』をご存知ですか。先月21日にサマーフェスティバルが行われたので、名前と場所を知っているという方は多いと思います。そこで、今回は清川ホームがどのような施設なのかを知ってもらうために清川ホーム施設長に話を伺いました。

Q. 清川ホームは、どのような施設ですか？

A. 障害者支援施設と言って、障害者の施設入所の支援や福祉サービスの提供を行う施設です。現在、知的障害をお持ちの成人の方、男性、女性総勢53名の方が入所されています。



清川ホーム菅原施設長

Q. どのような活動をされていますか？

A. 作業は、しいたけ栽培や受注作業、社協が集めたペットボトルキャップの色の仕分け作業などを行っています。また、レクリエーションでは、クッキングやミュージックセラピー、旅行、買い物などを行っています。中でも、ミュージックセラピーは大いに盛り上がり、大変人気な活動です。



ミュージックセラピーの様子

Q. 清川ホームで働く職員の皆さんは、どのようなことにやりがいを持って働いていますか？

A. たくさんあって一言では言えませんが、清川ホームは利用者も職員も含めて大きな家族のようなものです。家族同士協力し合いながら大変な作業や困難を乗り越えていくというのは一つのやりがいかもしれません。また、知的障害をお持ちの方はとても天真爛漫な方が多く、仕事で疲れていても笑わせてくれたり、その場を和ませてくれて、お互いに支えあえていることが仕事の魅力でもあります。

Q. 施設運営などで何か課題となっていることはありますか？

A. 一つは、『人材不足』という面ですかね。村内3ヶ所に清川ホームのお知らせボードがあり、求人情報などを載せています。パートもあるので興味があったら気軽に見学に来て欲しいです。中には直接利用者とは関わらない仕事もあるので、専門的な知識がなくても大丈夫です。もう一つは、ボランティアに来ていただきたいです。利用者はいろいろな方に会うことをとても楽しみにしています。

村内にある
掲示板 →



ペットボトルキャップの色の仕訳

Q. 最後に、住民のみなさんに一言お願いします。

A. 先日は、サマーフェスティバルに多くのみなさんにお越しいただいたおかげで、盛況に開催することができました。ありがとうございました。清川ホームは、地域に開けた施設にしたいと考えています。気軽にホームに来ていただきたい！ また、村内の知的障害をお持ちの方、そのご家族の皆様からも相談を受けていますので、何か気になることなどありましたらご相談ください。

ラジオ体操をやってみよう！

～曲師宿・古在家自治会有志が体験～

曲師宿、古在家地区で住民が集える場を作ろうと7月9日、村保健福祉センターひまわり館で曲師宿自治会長の岩澤孝さんをはじめ有志4人が話し合いを行いました。これは昨年度、岩澤さんが村社協主催の『地域福祉サポートー養成講座』を受講し、『知恵を絞れば自分が住んでいる地域でもできる』と気づき、古在家自治会長に提案して実施したものです。

当日は、『お茶飲み』『体操』『宮ヶ瀬ウォーキング』『村巡り』などいろいろな企画が提案されました。

その中で、「ラジオ体操ならすぐにでも出来る」との意見があり、「では有志でやってみよう」と早速7月18日に実施しました。「ラジオ体操が体に良いのは頭ではわかっていても一人ではなかなか実践できない。やっぱり皆が集まるといいね」と岩澤さん。今後は、自治会を通じて参加を呼びかけることになりました。



美味しい食事で夏バテ防止

～ふれあい昼食会～

村保健福祉センターやまびこ館で7月19日、ふれあい昼食会が行われました。連日の酷暑のなか14人が参加しました。この日は、もみじ会が調理してくださった食事をいただいた後、体操、ゲームをして楽しみました。「暑い中調理をしてもらい申し訳ない。ここでの食事は美味しいから夏でもいっぱい食べられる」と参加者。メインのかじきまぐろの煮魚からデザートフルーツゼリーまで、ペロリと平らげていました。

また、食後の『脳トレーニング』ゲームでは、参加者が手を取り合って輪になり、職員の掛け声に合わせて前後左右に手を動かしました。



仲間に会えてよかった

～ほのほのクラブ3地区合同で開催～

村せせらぎ館で7月26日、通所型サービ事業(ほのほのクラブ)が行われました。日頃は、上地区、中地区、下地区に分かれて行っていますが、この日は3地区が一堂に会し実施しました。この日は、午前中に地区対抗でスカットボールを行い、午後からは、民芸団『いろり座』(座長 三浦晃さん・清水ヶ丘在住)をお招きし、歌、踊り、津軽三味線などを鑑賞し楽しみました。参加者は「日頃会わない他地区の人と話ができて良かった」「いろり座さんの講演を初めて見たがとても迫力があつた」と話していました。

なお、午前中の地区対抗スカットボールは、『下地区』が優勝しました。



第1回 かながわパラスポーツフェスタ2018

県では、全ての方が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支える、「かながわパラスポーツ」を推進するため、「かながわパラスポーツフェスタ2018」を開催します。

パラリアン等を招いての講演やトークショー、パラリンピック競技の体験のほか、ダンス発表や「3033運動」「ラグビーワールドカップ2019TM」のイベントなど、盛りだくさんのプログラムを用意しています。

どなたでも参加できますので、ぜひ、ご家族やお友達と一緒にお願いします！

日時 平成30年9月8日(土)
午前10時30分～午後4時

場所【メイン会場】
平塚総合体育館
(平塚市大原1-1)
【サテライト会場】
神奈川県立平塚ろう学校
(平塚市大原2-1)

参加費 無料

申込み 不要

持ち物 室内シューズ
(体育館内は土足で入場できません)

その他 各種体験を希望される方は
運動ができる服装・靴でお
越し下さい。

お問い合わせ先
神奈川県スポーツ局 スポーツ課
障害者スポーツグループ
電話 045-285-0798
FAX 045-663-0113

内容

10:30~11:00	●オープニングアトラクション
11:00~11:30	●講演会 『挑戦～喜びに変わるまで!』 講師 大日方 邦子氏 (アルパンスキー・平昌2018冬季パラリンピック日本選手団団長)
11:30~12:00	●トークショー 『みんなてつながるパラスポーツ』 [ナビゲーター] 大日方 邦子氏 [ゲスト] 廣瀬 隆喜氏(ボッチャ) 茨 隆太郎氏(ろう者水泳)
12:00~16:00	●パラスポーツ体験 ボッチャ、車いすテニス、車いす バスケットボール、卓球、射撃(ビ ームライフル) ●体験コーナー 囲碁ボール、知的障がい者サッカー

※この他にも様々なイベントが開催されます。

寄付をありがとうございます

平成30年6月～平成30年7月

○清川かようクラブ(第10回きよかわ歌踊祭)様
80,000円

回収にご協力ありがとうございます

平成30年6月～平成30年7月

○ペットボトルキャップ 10件
○古切手 2件
○使用済みプリペイドカード 0件

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

2ページで清川ホームの特集記事を掲載しました。村民の皆さんにどのような施設か少しでも理解していただければと思っています。また、これを機に、ボランティアなどやってみたいという方は、清川村社協でも相談を受け付けますので個人、グループなどお気軽にお問い合わせください。

はなと
うおーむ